

2023年度 編入学選抜〔A日程〕

小論文問題

(経済学部 経済学科)

昨年以降、世界各国で消費者物価指数（CPI）の上昇がみられる。特に上昇が著しいのは米国であり、米国の中央銀行である連邦準備制度理事会（FRB）は今年に入って度重なる利上げを実施し、物価高の抑え込みに注力している。一方、日本においても、CPI（総合）は直近の2022年8月で前年同月比3.0%の上昇を記録しており、この上昇率は消費税率引き上げの影響が見られた時期を除くと、1991年12月以来の高水準となっている。

以上のような物価高の現状を踏まえて、以下の2つの設問を解答しなさい。

- (1) 最近の世界的な物価高の原因を400字程度で説明しなさい。
- (2) 物価高に対して、日本政府がとるべき政策対応を400字程度で述べなさい。

注意

- (1) 答案用紙には受験学科・受験番号だけを記入し、氏名は絶対記入しないこと。
- (2) 答案は横書きとし、問題の字数に従い解答すること。
- (3) 答案は1行目から本文を書き始め、問題は書かないこと。